

令和元年度 山形県生涯学習推進委員会報告

1 令和元年度 山形県生涯学習推進委員会の実施状況

(1) 令和元年度より書面会議を予定したが、実施できなかった。

(2) 構成部局

広報広聴推進課、学事文書課、市町村課、防災危機管理課、消費生活・地域安全課(消費生活センター)、食品安全衛生課、環境企画課、循環型社会推進課、みどり自然課、子育て支援課、子ども家庭課、若者活躍・男女共同参画課、健康福祉企画課、地域福祉推進課、健康づくり推進課、長寿社会政策課、障がい福祉課、中小企業振興課、工業戦略技術振興課、雇用対策課、インバウンド・国際交流推進課国際交流室、県民文化スポーツ課、農政企画課、農業経営・担い手支援課、6次産業推進課、村山総合支庁総務課、最上総合支庁総務課、置賜総合支庁総務課、庄内総合支庁総務課、県警広報相談課、県警地域課、県警交通企画課、県警警備第二課、教育庁総務課、義務教育課、特別支援教育課、高校教育課、スポーツ保健課(競技力向上・アスリート育成推進室)、県立図書館、県立博物館、村山教育事務所社会教育課、最上教育事務所社会教育課、置賜教育事務所社会教育課、庄内教育事務所社会教育課、青年の家、県生涯学習センター、文化財・生涯学習課、生涯学習振興室

2 令和元年度の成果と課題

(1) 成果

① 県HPのトップ画面にある「いち押し」欄を活用した事業情報の提供

夏休み期間中に各課で開催する小中高生向けの生涯学事業について、県HPのそれぞれの課のページに掲載されている事業情報を、子どもたちが閲覧しやすいように、県HPのトップ画面にある「いち押し」欄を活用し、一括して紹介した。今年度各課から情報提供があった66件について情報を掲載した。

② 各課で行っている生涯学習に関する事業の課・室間での効果的な連携

生涯学習に関する関係各課の事業の中で、67の事業において連携が図られている。各課において、事業実施にあたり、必要な連携を推進する素地ができつつある。

(2) 課題

① 「いち押し」欄の活用について

県HPのトップ画面にある「いち押し」欄には多くの課から利用希望が多く、6月1日から30日までの1か月しか掲載できなかった。夏休み期間の事業の周知という点では、時期が早すぎ、また、期間が短かった。

② 事業ベースでの連携

各課・室間での情報共有や連携が見られるようになってきており、今後は事業ベースでの連携・協働や市町村における関係各課での事業の連携できないか、情報交換を進めていく。

③ 会議の効率化

今年度より書面会議へ移行することにしたが、実施できなかった。次年度については、書面会議を実施し、連携のあり方についても研究していく。